

## がん検診説明書 これから受けるがん検診のこと

- 日本人の2人に1人が生涯のうちに「がん」にかかり、4人に1人が「がん」で亡くなっています。
- かつらぎ町においても、「がん」は死亡原因として高い状況で、残念ながら40歳代で命を落とされる方もいます。
- 特に肺がん・大腸がん・胃がんは、がんの死亡の上位に位置しています。また、乳がんは女性におけるがん死亡の上位に位置しており、子宮頸がんにかかる方は近年増加傾向にあります。

かつらぎ町の死亡割合



令和5年人口動態統計

## がん検診を受ける前に

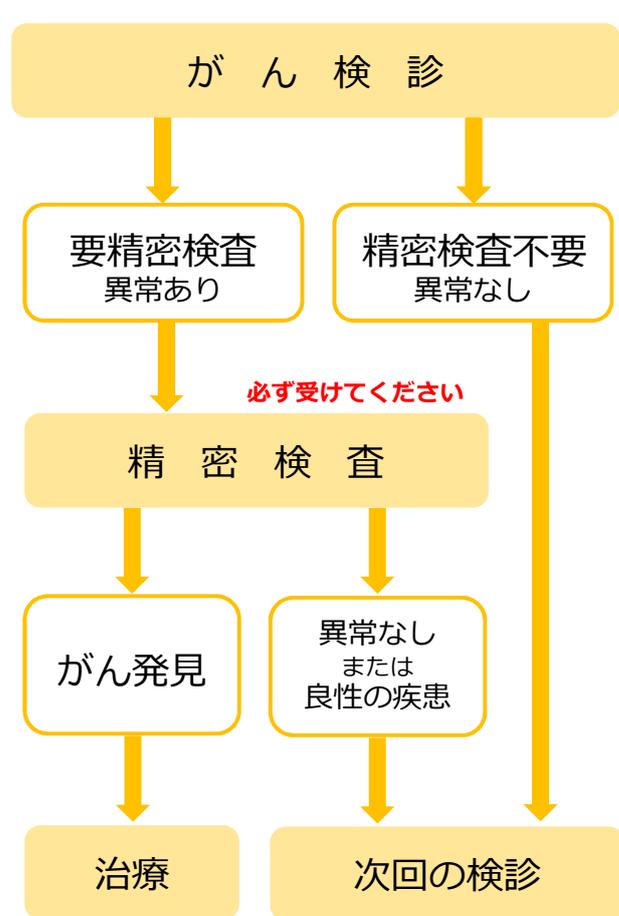
- 胃・肺・大腸・子宮頸・乳がん検診は「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。
- すべての検診にはメリットとデメリットがあります。がん検診を正しく理解し、早期発見・治療で大切な命を守るために、定期的に検診を受診し、「異常あり」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしてください。

### がん検診のメリット・デメリット等

- ✓検診を受けることで自覚症状のない早期の状態で見つかり、早期の段階で適切な治療につながるなど、がんによる死亡リスクが減少します。
- ✓検診は定期的に行きましょう。ただし、**自覚症状がある場合（下記参照）**は次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- ✓検診で、すべてのがんが見つかるわけではありません。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できませんし、検査では見つけにくいがんもあります。
- ✓がんでないのに「要精密検査」と判定されたり、放置しても死に至らないがんが見つかったために、本来は不要であった可能性がある治療を受けなければならない場合もあります。
- ✓検診は自治体と各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有されます※

※精密検査の結果は市町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、最初に受診した医療機関にも後日精密検査結果が共有されます。

### がん検診の流れ



### がん検診を待たずに医療機関を受診すべき自覚症状とは？

- 胃 : 胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなど
- 肺 : 血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなど
- 大腸 : 血便、腹痛、便の性状や回数の変化など
- 子宮頸 : 月経（生理）以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則など
- 乳 : しこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液が出る、乳頭の湿疹やただれなど